

Parlando

ぱるらんどからのお知らせ

これまで4号に渡って連載してきた「ぱるらんどのあゆみ」、いかがですか？

『収書案内』というタイトルで、新規購入資料の一覧を刊行したのが1971年。1976年からは館員や先生方の執筆する読み物を加え、『ぱるらんど』という名前になりました。この30年、改めて振り返ると歴史を感じます。

今回は「ぱるらんどのあゆみ」をお休みし、これからの『ぱるらんど』についてお知らせいたします。

発行回数とページ数が変わります。

『ぱるらんど』は、これまで年に5回、4月、6月、9月、11月、1月に発行してきました。ページ数は、9、11月は16ページ、他の月は12ページでした。

2007年度からは、新カリキュラムの授業日程に沿って、年4回、4月、6月、9月、11月に発行し、すべて16ページに変更します。1冊のページ数が増えることで、より詳しい、充実した記事を多数掲載できるようになると考えています。図書館で所蔵しているさまざまな資料の紹介や、図書館やOPACの便利な使い方、そのほかみなさんの学習・研究に役立つ情報を、これまで以上に盛り込みます。ご期待ください。

インターネットで公開します。

当館のホームページでは、『ぱるらんど』の目次を公開しています。2007年度に発行する号からは、このホームページ上で本文も公開することになりました。図書館に行かなくても、新しい号をもらい忘れても、いつでも読めるようになります。公開を始めたらお知らせしますので、どうぞご利用ください。

本学学生の皆さんからの原稿を募集しています。

『ぱるらんど』では、図書館資料紹介コーナーに本学学生の皆さんからの原稿を掲載しています。当館の所蔵資料のなかから、ほかの人におすすめしたい本や楽譜・CD・DVDなどを紹介してみませんか。日ごろ感じていることを文章にしてみると、新しい発見があるかもしれません。文章が活字になって残り、学生時代のよい記念にもなります。原稿の長さは900字以内(原稿用紙2枚程度)で、いつでも募集しています。本学の学生の方でしたら、学科や専修、学年は問いません。書いてみようと思われる方は、詳細をお知らせしますので、カウンターまでご連絡ください。

